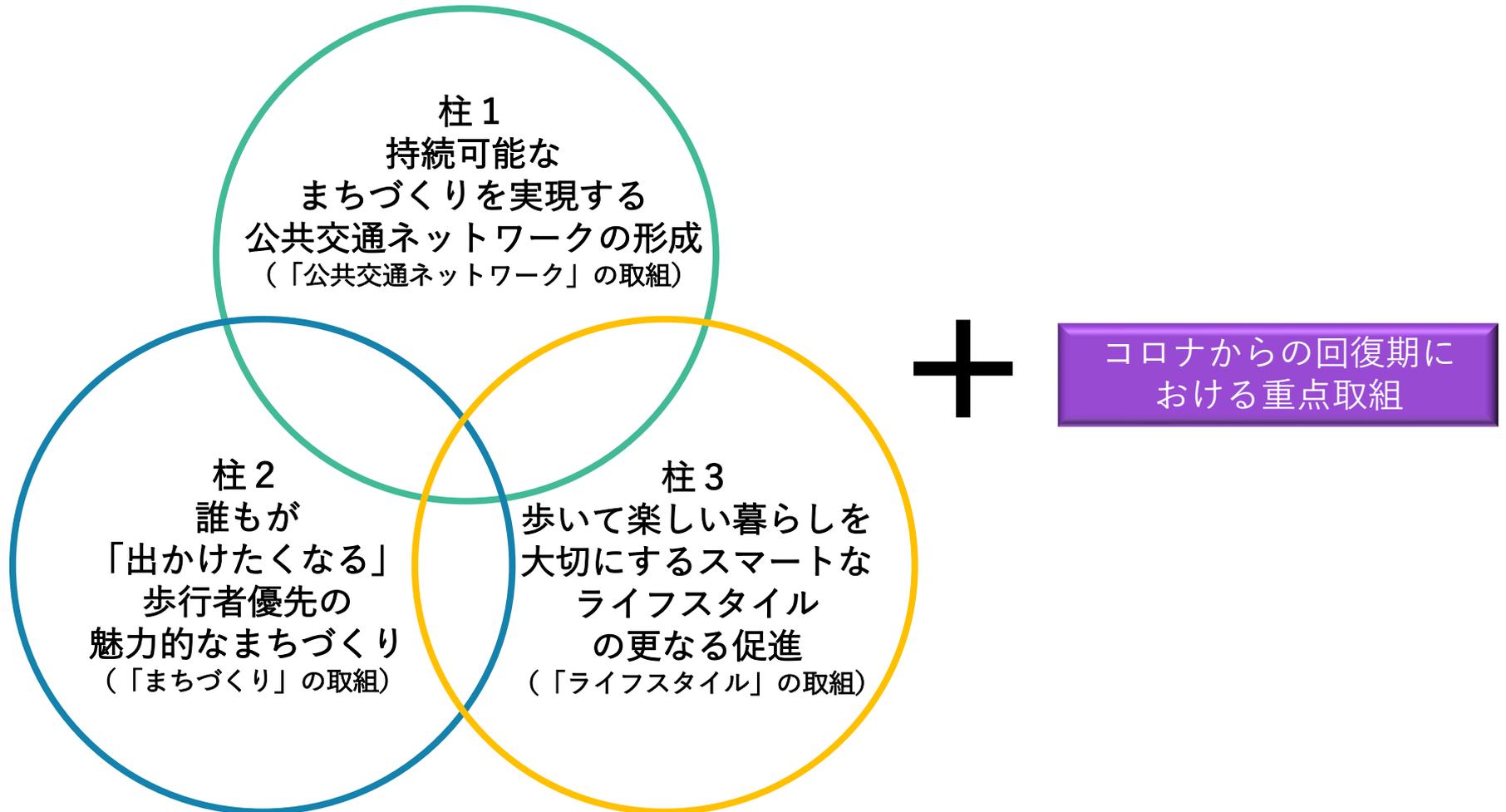


令和 5 年度
「歩くまち・京都」推進会議
説明資料

「歩くまち・京都」総合交通戦略2021

令和3年11月策定。各柱に掲げた方針、施策等を互いに密接に連携させながら推進することにより、歩く魅力の満喫できるまちの形成や都市の活力や魅力の向上などの相乗効果を創出、「歩くまち・京都」の実現を目指す。



「歩くまち・京都」 総合交通戦略の推進体制

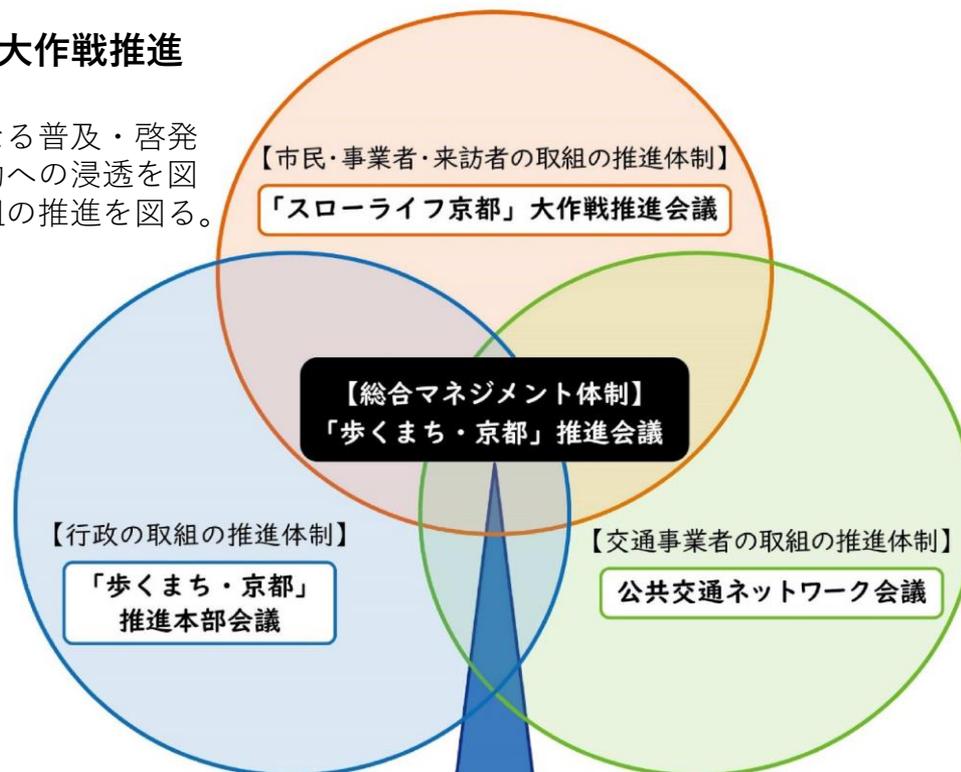
「歩くまち・京都」推進会議をはじめとしたマネジメント体制により、交通に関連する定量的なデータも幅広く活用しながら、Plan（計画）、Do（実施）、Check（確認）、Action（改善）のPDCAサイクルに基づく進捗管理を実施

「スローライフ京都」大作戦推進会議

「歩くまち・京都」の更なる普及・啓発や市民生活、社会経済活動への浸透を図るための方策の検討や取組の推進を図る。

「歩くまち・京都」推進本部会議

分野を横断する施策の庁内連携や、調整・点検を進める。



その他、「歩くまち・京都」実現に向けた施策・取組推進に係る各種会議・協議会・研究会等

公共交通ネットワーク会議

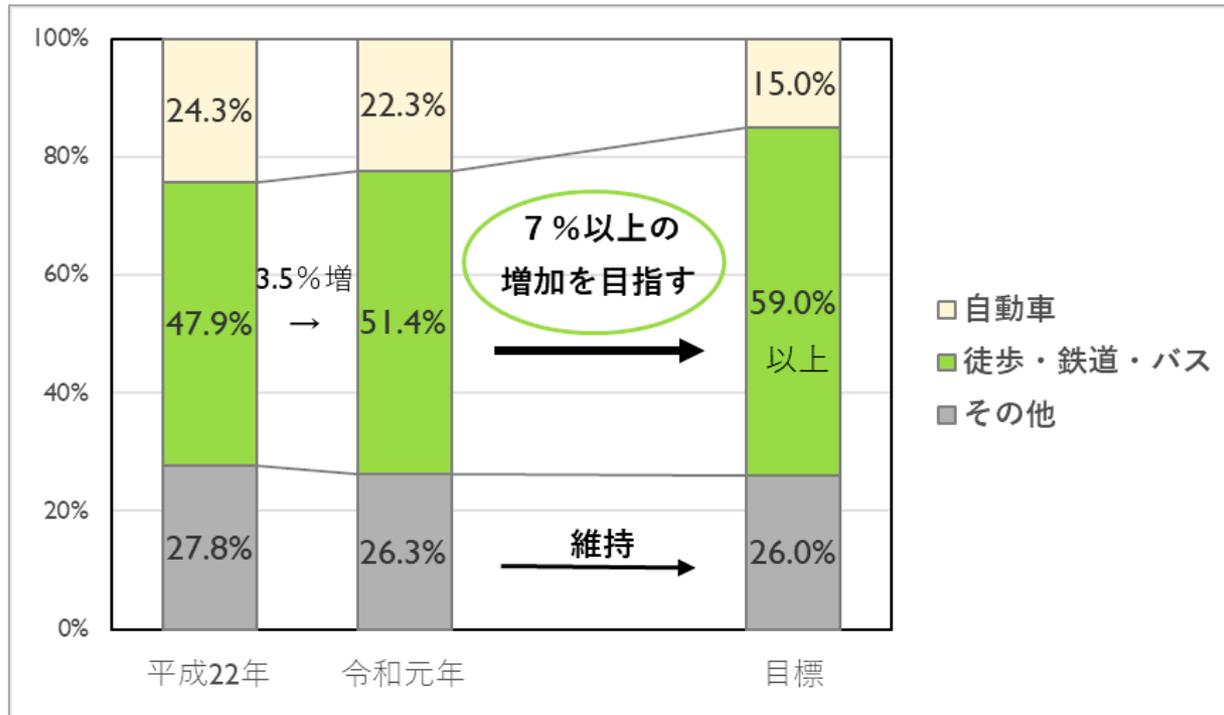
市内を運行する鉄道・バス事業者による連携のプラットフォームとして、誰もが鉄道・バスを便利で快適に利用できるような、利用者目線での利便性向上を図る。

個別課題に対する推進体制

必要性に応じて会議体を設置し、市民、事業者、交通事業者、学識経験者、関係機関による意見調整や連携を図る。

指標・目標数値

指標・目標数値：非自動車分担率 85%以上



「歩くまち・京都」の実現に向け、市民、事業者、行政が連携し、来訪者とともに、たゆむことなく取組を推進していくことが重要であり、各主体が「歩くまち・京都」の理念や憲章を共有し、一体となって戦略に掲げる取組を進める。

モニタリング指標

指標である「非自動車分担率」を補完し、「歩くまち・京都」総合交通戦略の多面的な推進に向けて、参考とするためのモニタリング指標を設定

京都市民の休日における外出率

移動機会の創出や「出かけたくなる」魅力と活力のあふれるまちづくりに関連する観点から把握することにより、施策の推進に活用

市民の実感・満足度

統計データなどでは表れてこない、市民の実感や満足度といった観点から把握していくことにより、施策の推進に活用

必要に応じて、その他関連データも活用しながら、併せて効果検証も実施

例：公共交通の利用状況に関わるもの、
観光客の交通行動に関するもの、
自動車流入抑制に関するもの 等

議題

- (1) 令和5年度及び令和6年度以降の「歩くまち・京都」の主な取組について

主な推進項目① >> 交通事業者や行政における相互連携の強化

洛西“SAIKO（さあ、いこう）”プロジェクト～みんなで進める！実行策とりまとめ～

- ・ 令和5年11月に洛西地域の更なる活性化を目指し、6分野55アクションで構成する「洛西“SAIKO（さあ、いこう）”プロジェクト～みんなで進める！実行策とりまとめ～」を策定
- ・ 実行策の一つに「交通のバージョンアップ」を掲げ、4つのバス事業者がきめ細かに運行する洛西地域において事業者間の連携を更に強化し、まちの活性化・にぎわいに資するバスネットワークを目指す。
 - ◇ 鉄道駅への速達性及び洛西ニュータウン内の回遊性向上を図るバス路線網のブラッシュアップ
 - ◇ ICカードの利用拡大等によるシームレス化の推進 等



主な推進項目② >> 路線・ダイヤ改善等による公共交通サービス水準の維持・向上

地域公共交通における運行維持確保対策事業

- ・ 燃料費高騰等により厳しい経営状況にある公共交通事業者に対して、運行維持に向けた支援を実施（バス11社、鉄道2社）

JR嵯峨野線の多客期における臨時列車の運転及び車両の増結 <JR西日本>

市バスのダイヤ改正

- ・ 「京都市バスの路線・ダイヤの在り方に関する検討委員会」からの答申等を踏まえ、令和6年6月にダイヤ改正を実施予定

主な推進項目③>> 公共交通の担い手不足解消に向けた取組の推進

公共交通担い手確保支援

- ・ 業界団体（府バス協会・府タクシー協会）及び各事業者（路線バス事業者・法人タクシー事業者）に対し、啓発ツール作成や事業者向けセミナー開催など、担い手確保対策の取組に要する経費を支援
- ・ 京都市において、市内の路線バス・タクシー乗務員の担い手の重要性や職業としてのイメージアップ、新しい担い手の発掘を目的とした広報を実施



公共交通担い手確保検討WGの設置・運営

- ・ 令和6年1月に、公共交通ネットワーク会議に新たに「バス事業者担い手確保検討WG」を設置。バス事業者及び行政の連携により、担い手確保に向けた効果的な取組を検討・実施

主な推進項目④ >> 地域団体等が主体となった生活交通確保に向けた取組への支援

地域が主体となり運行する住民バスへの支援の実施

- ・ 令和5年度は、小金塚地域循環バス（住民ボランティアによる無償運送）に対し支援を実施
- ・ 令和6年度は、住民バスの持続可能性を高め、生活の足を維持・確保するため、制度を充実。住民ボランティアの高齢化が進む中、安定的に運転士を確保し、持続可能な運行を目指すため、自家用有償旅客運送に移行する小金塚地域循環バスに対して、引き続き支援を予定

主な推進項目⑤ >> 地域の輸送資源を総動員した移動手段の確保に係る取組の推進

京都市地域公共交通計画の策定

- ・ 令和5年12月に、将来にわたって、地域の特性やニーズに応じた生活交通を維持・確保し、持続可能なものとしていくための考え方や具体的な取組を示した「京都市地域公共交通計画」を策定（詳細は「概要版」「本冊」）
- ・ 令和11年3月までの概ね5年間、本計画に基づき取組を推進



主な推進項目⑥ >> 誰もが利用しやすい多様なモビリティの安心・安全な活用に向けた取組の推進

株式会社テムザックと京都市による「ロデム」無償貸与に係る協定の締結

- ・ 京都のまちの特性にも合致したラストワンマイルの確保等に資する次世代モビリティの普及促進の観点から、次世代パーソナルモビリティ「ロデム」の新たな活用機会を広げ、ビジネスマッチング等で協力していくことを趣旨として協定を締結
- ・ 今後は協定に基づき、取組を推進



主な推進項目⑧ >> 駅等の安心・安全・快適・便利な利用環境の整備

エスカレーターの利用マナー向上

- ・ 地下鉄全駅のエスカレーター付近に利用マナー向上に向けた啓発サインを設置
- ・ 4者連携（京都府理学療法士会、京阪電気鉄道、阪急電鉄、交通局）で「エスカレーターマナーアップ」合同キャンペーンを実施



地下鉄烏丸線新型車両（20系）の営業運行の開始

- ・ 現行の地下鉄烏丸線車両20編成のうち、開業以来40年以上使用し老朽化した9編成を安全確保のため、令和3年度から令和7年度にかけて新型車両（20系）に順次更新中
- ・ より安全・安心・快適な地下鉄を目指し、車両床面とホームの段差の低減や車いす・ベビーカースペースの充実等のバリアフリー化の推進や、車内防犯カメラの設置を行うとともに、伝統産業を身近に感じてもらい京都らしい地下鉄とするために外観・内装デザインに伝統産業素材・技法を活用
- ・ 令和5年度は、9月に第4編成、1月に第5編成の営業運行を開始



地下鉄トイレにおける生理用品の無償配布サービスの導入

- ・ 誰もが安心して御利用いただける環境整備に向け、地下鉄駅の女性用個室トイレ内に生理用品を無料提供する機器を令和6年度に導入予定（15か所程度）



市バス「二条城前（南行）」停留所の上屋等の新設

- ・ 京都堀川ライオンズクラブ設立50周年記念事業の一つとして、「京都堀川ライオンズクラブ」と「堀川と堀川通りを美しくする会」が共同で、京町家をイメージしたデザインの「二条城前（南行）」のバス停上屋を新設

「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用したバリアフリー化の推進

- ・ 令和5年4月1日から料金収受を開始した「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用し、ホーム柵の設置や、駅のバリアフリー化を推進



主な推進項目⑨ >> 交通結節点における乗継・乗換機能の改善

主な推進項目⑩ >> 京都駅一極集中の改善に向けた取組の推進

主な推進項目⑪ >> 市民生活と観光の調和に資する交通混雑対策の推進

主な推進項目⑬ >> 都市活力の向上やレジリエンスにもつながる多様な移動方法の確保

主な推進項目⑬ >> 移動の円滑化につながる手ぶらで移動できる環境の整備

スムーズな京都観光WGの設置・運営

- ・ 公共交通ネットワーク会議の「外国語案内充実WG」を、混雑対策を含めより幅広く議論するために、「スムーズな京都観光WG」に移行。市内鉄道ネットワークの徹底的な活用など、スムーズな京都観光に資する取組を検討・実施

観光シーズンにおける観光課題対策

- ・ 京都駅一極集中の緩和
- ・ 市バスの混雑対策
- ・ タクシー乗り場の滞留対策
- ・ 観光地の混雑対策
- ・ 道路の混雑対策
- ・ 嵐山・東山における混雑対策

京都駅の交通結節機能強化

観光シーズンにおける観光課題対策・京都駅の交通結節機能強化の詳細は資料5

主な推進項目⑭ >> 駅等の旅客施設と道路等の一体的なバリアフリー化の推進

駅等のバリアフリー化の推進

- ・ 駅等周辺のバリアフリー化及び無電柱化を実施中（後院通（阪急大宮）、大手筋（近鉄桃山御陵前））
- ・ 地域鉄道事業者（京福電鉄・叡山電鉄）の駅ホームのバリアフリー化の推進

主な推進項目⑮ >> 移動の円滑化に資する「心のバリアフリー」の推進

心のバリアフリーの推進

< 京都市の取組 >

- ・ 市民が「心のバリアフリー」について学び、気付いたことを行動に移していくための普及啓発として、バリアフリーをテーマとした中学校の「総合的な学習授業」への本市職員の講師としての参加や市内25駅へのチラシの配架及び市ホームページを活用した広報などを実施
- ・ 令和5年度は新たに「ローソン」市内50店舗に「心のバリアフリー」の啓発チラシを配架



< 交通事業者の取組 >

- ・ 「声かけ・サポート」運動の実施（お客さまに鉄道などの施設を安全に安心してご利用いただけるよう、お困りのお客さまに対して社員から積極的にお声かけを行うとともに周囲のお客さまからもお声かけにご協力いただく）< 近畿日本鉄道 >
- ・ 駅係員が「交通サポートマネージャー研修」「手話及び聴覚障害の理解促進に向けた業種別合同研修会」を受講< 叡山電鉄 >
- ・ 「サービス介助士」資格取得によるお客さまへのサポート力の向上< 京福電鉄 >
- ・ 全乗務員へのバリアフリー研修を実施< 京阪バス >
- ・ サービス介助士の資格取得促進（新規採用運転士は取得必須）< 阪急バス >
- ・ 運転士のサービス介助士取得の推進・運転士の定期的な研修等の実施< 西日本JRバス >

主な推進項目⑩ >> 公共交通の更なる利用促進に資する交通データのオープン化とMaaSの推進

リアルタイム混雑情報提供機能付きバスロケーションシステム「京都バスナビ」の導入<京都バス>

- ・ 運行中のバスの現在地や停留所への到着予測時刻、遅延情報などの運行状況をスマホ等の端末を用いてリアルタイムで把握できる他、3段階の混雑状況アイコンで乗車前にバスの混雑状況が把握可能
- ・ これらの情報をGTFSでオープンデータとすることで、主要な乗換検索サービスにおいてもバスの現在地や到着予測時刻の検索・表示が可能



市バスの運行情報のオープンデータ化

- ・ バス停留所の位置や市バスの発車時刻（時刻表）、運行経路等に関する情報（静的情報）について、国土交通省が定めた「標準的なバス情報フォーマット」（GTFS-JP）形式のデータで整備し、公共交通オープンデータ協議会のホームページ上で公開
- ・ 市バスのリアルタイムの運行・混雑状況や走行位置等（動的情報）を提供するシステム構築に関する検討

「京の冬の旅」デジタルスタンプラリーの開催

- ・ JR西日本、京阪HD、京阪電鉄、阪急電鉄、交通局、京都市、京都市観光協会が連携し、京都観光の際の回遊性向上を図るため、JR西日本のMaaSアプリ「WESTER」を活用した、「京の冬の旅」デジタルスタンプラリーを開催



「KANSAI MaaS」を活用した京都エリアの交通に関する課題解決<関西MaaS協議会>

- ・ 関西MaaS協議会がリリースした、関西のおでかけに便利な機能を数多く盛り込んだスマートフォンアプリ「KANSAI MaaS」と京都市観光協会が提供する「混雑回避に役立つ京都観光快適度マップ」を連携
- ・ 関西MaaS協議会内に「京都WG」を設置し、更なる取組に向け連携



主な推進項目⑰ >> 新たな技術を活用した交通系サービス等の推進

ICカードによるポイントサービスの導入・充実

- ・ 令和5年4月に、バスとバス、バスと地下鉄を乗り継いだ場合にポイントを還元する乗継割引等のサービスを開始
- ・ 令和6年度はICカードによるポイントサービスを充実予定（モバイルICOCAへの対応等）

QRコードを活用したデジタル乗車券サービスの開始<スルッとKANSAI協議会>

- ・ スルッとKANSAI協議会が乗車券のデジタル化による利便性向上のため、QRコードを活用したデジタル乗車券のサービス「スルッとQRtto（クルット）」を令和6年6月に開始予定
- ・ サービス開始当初は、Osaka Metro、大阪シティバス株式会社、近畿日本鉄道株式会社、京阪電気鉄道株式会社、南海電気鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社、阪神電気鉄道株式会社の7社で導入を行い、その後、サービス導入事業者を拡大予定



スルッとQRtto

モバイル「ICOCA」の「iPhone」と「Apple Watch」向けサービス提供開始<JR西日本>

全駅でクレジットカード等のタッチ決済による乗車サービスを令和6年度に開始予定<阪急電鉄>

主な推進項目⑱ >> バス・タクシーなどの公共交通の脱化石燃料化に係る課題や方策等の検討

市バスへの電気バス導入に向けた検討

- ・ カーボンニュートラルに貢献する電気バスについて、費用や運用面の課題抽出などを調査・検討
- ・ 令和7年度の市バス路線での運行を目指し、令和6年度には導入する営業所や車両の選定、充電設備などの整備を実施

100%電気で走る「E Vバス『オオムラサキ号』」の導入<京都バス>

- ・ 令和5年12月から主に京都洛北地域を運行
- ・ E Vバスの特別装飾は、大原地区で保護活動が行われている国蝶「オオムラサキ」をあしらったものをデザイン



主な推進項目⑳ >> 誰もが安心・安全に移動できる魅力的な歩行空間の創出

無電柱化事業の推進

- ・ 良好な都市景観の創造、都市防災機能の向上、安全で快適な歩行空間の確保を目的として、通りから電柱・電線類をなくす「無電柱化」の取組を推進
- ・ 市民の皆様は無電柱化事業についてより知っていただくために、法律で定められた「無電柱化の日」（11月10日）に合わせて、パネル展示「京都市の無電柱化事業について」を京都市役所で実施



主な推進項目㉑ >> トランジットモールなどの幅広い手法による、歩きやすく、まちの賑わいを生み出す空間の創出

四条通地下道活性化事業

- ・ 四条通地下道（10～14番出入口間）を写真や絵画作品の展示スペースとして活用
- ・ 任天堂株式会社が、同地下道において世界的な人気を誇るゲームコンテンツ「スーパーマリオ」の世界を表現した装飾を展示（令和5年10月）
- ・ 四条通地下道アート展「Art Under the Shijo」を初開催。京都市内の大学でアートやデザインを学ぶ学生チーム6組が、地下道の壁や柱に、アート作品を制作・展示（令和5年12月～令和6年2月）



河原町蛸薬師商店街（蛸薬師通）の賑わい創出

- ・ 令和5年2月15日に、蛸薬師通（河原町蛸薬師商店街）を歩行者利便増進道路（通称「ほこみち」）に指定。利便増進誘導区域が指定当初の21店舗から32店舗に増加するなど、商店街の賑わい創出を推進

主な推進項目⑳ >> ソフトとハード両面からの自転車の安心・安全な利用環境の充実

自転車ルール等啓発冊子「Enjoy 自転車 life in Kyoto」の配布

- ・ 自転車の基本的なルール等を分かりやすくまとめた「Enjoy 自転車 life in Kyoto」2024年版の冊子を、自転車安全教育のため市内の保育施設、幼稚園、小中高校等の全児童生徒、大学新入生 に対して配布するとともに、区役所・支所等に配架



「三都市放置自転車クリーンキャンペーン」の実施

- ・ 京都市、大阪市及び神戸市が、放置自転車を防止することを目的に、京阪神の鉄道事業者と協同して、「三都市放置自転車クリーンキャンペーン」を実施



主な推進項目㉑ >> 自転車の特性を活かした更なる活用

「京都市サイクルサポートステーション」の設置

- ・ 市民や観光客等のサイクリストが、より一層、安心・安全・快適に自転車観光やサイクリングを楽しめる環境を整え、地域の活性化につなげることを目的に、京奈和自転車道（桂川サイクリングルート）の沿道に、「京都市サイクルサポートステーション」を設置
- ・ 令和5年9月に、4施設を本市で初めて認定
- ・ 京都市立美術工芸高等学校の協力により、事業ロゴマークのデザインを制作



主な推進項目⑳ >> 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発の強化

「歩くまち・京都」憲章の普及啓発

- ・ 「歩くまち・京都」憲章の更なる普及を図るため、あらゆる機会を捉え、意識啓発を推進
- ・ 市内の全小中学校及び総合支援学校に配布している環境副読本への憲章の掲載
- ・ 転入者向けに配布している公共交通の利用方法等に関するリーフレットへの憲章の掲載
- ・ 京都市立開建高校における、高校生への憲章の周知（令和5年10月）
- ・ 京北ふるさとまつりにおける憲章の周知（令和5年11月）
- ・ 「歩くまち・京都」学習の実施校における、中学生への憲章の周知（令和6年2～3月）
- ・ イベント（らくさいさくら祭）への歩くまち・京都啓発ブースの出展（令和6年3月予定）

「歩くまち・京都」憲章

わたしたちの京都では、市民一人ひとりは、

1 健康で、人と環境にやさしい、歩いて楽しい暮らしを大切にします。

そして、市民と行政が一体となって、

1 だれもが歩いて出かけたくなる道路空間と公共交通を整え、
賑わいあるまちを創ります。

1 京都を訪れるすべての人が、歩く魅力を満喫できるようにします。



主な推進項目③⑥ >> 市民・事業者・行政・来訪者の連携によるモビリティ・マネジメントの更なる推進

教育現場と連携したモビリティ・マネジメント

- ・ 中学校2年生が社会科（地理）で学習する「地域の在り方」の中で、京都市の交通政策について取り扱っていただくため、勉強会（有志の教員が参加）を開催し、以下の取組を実施。
令和3年度：授業モデル及び教材用データ集を作成
令和4年度：モデル校での授業実施及びモデル校間の成果発表交流会を実施
令和5年度：勉強会参加教員の拡充、取組の学会での発表
授業実施
令和6年度にかけて新たな授業モデルを作成（予定）
- ・ 京都教育大学附属桃山中学校の総合学習「生き方探求」（2、3年生対象）において、公共交通をテーマにフィールドワーク及びグループディスカッションを実施
- ・ 京都市立開建高校の総合学習「京都探求」（1年生対象）において「考える素材」を提供。生徒は素材をもとに探求活動を実施
（考える素材）○持続可能な公共交通ネットワークの構築をしたい
○人と公共交通優先の「歩いて楽しいまち」を実現したい

交通事業者と連携したモビリティ・マネジメント

- ・ 京北ふるさとまつりにおいて、京北ふるさとバスを展示するとともに、来場者の方に利用促進チラシを配布



主な推進項目⑳ >>インターネット・アプリ等を活用した効果的な情報発信

Googleマップへの運行状況の表示<阪急バス>

- Googleマップへの目的地の入力により、①バスの経路検索②運賃に加え、新たに③運行状況（定時運行・遅延運行・バスの現在地）を表示

「京都 地下鉄・バス ICポイントサービス」PR映像の制作

- 交通局では、日本で唯一の映像学部を有する立命館大学と連携し、平成29年度から同大学の映像制作の正課授業「社会連携プログラム」において、市バス・地下鉄のPR映像を共同制作
- 令和5年度は「京都 地下鉄・バス ICポイントサービスのPR」をテーマに映像を制作。地下鉄烏丸線四条駅及び京都駅のデジタルサイネージで放映するほか、交通局公式「YouTube」で公開



訪日外国人向けワンストップ観光情報サービス「LIVE JAPAN」へのWEB記事掲載

- ①徹底検証！「京都の移動はバスより電車」は本当？②京都の観光地をお得&効率的に回る！「地下鉄・バス1日券」ガイド③京都では「荷物を預けて観光」が正解！京都駅で利用できる手荷物預かりサービスまとめ、の記事を多言語（日英中韓）で発信

Destination from Kyoto Station	Quick and easy!	
	Subway/Train Route	Bus Route
Kinkaku-ji Temple (Golden Pavilion)	47 min	59 min
Ginkaku-ji Temple (Silver Pavilion)	44 min	64 min
Nijo-jo Castle	25 min	29 min

主な推進項目⑳ >> 健康増進や環境保全など幅広い効果生み出す「歩くこと」の推進

京都ウォーク2024の開催

- ・ 京都の名所を自らの足で巡り、健康的に京都の魅力を存分に満喫していただく「京都ウォーク2024」を開催（令和6年3月）
- ・ 梅小路公園をスタートし、ファミリー向けの5km、10kmのコースから、本格的なウォーカーにも満足いただける25kmのコースまで、様々な京都の魅力を親しんでいただける計3コースを用意



主な推進項目㉑ >> 公共交通を使った外出機会の創出につながる歩いて楽しい仕掛けづくり

徒歩や公共交通を使った外出や移動機会の創出に向け、「歩くこと」に対する価値を再認識し、歩いて出かけることが楽しくなるような情報発信や仕掛けづくりを推進

【各局等及び交通事業者における取組例】

- ◇ ～地下鉄×市バス リアル謎解きゲーム～「今日も京都でなぞ旅日記」
参加者が実際に地下鉄・市バスに乗り、沿線に散りばめられた様々な情報を見て、謎を解きながら物語を進めていく、体験型のゲームイベントを実施
- ◇ 京都市交通局×東映太秦映画村×京福電気鉄道「えいがむらかくれんぼ」の実施
大人気キャラクター「すみっコぐらし」とコラボしたスタンプラリー「えいがむらかくれんぼ」を交通局、東映太秦映画村及び京福電気鉄道（嵐電）が連携して実施
- ◇ 「京都モダン建築祭」&地下鉄1日券／地下鉄・バス1日券セット券の販売
京都に現存するモダン建築を一斉公開するプロジェクト「京都モダン建築祭」において、建築祭パスポートに、「地下鉄1日券」又は「地下鉄・バス1日券」がセットになったスペシャルセット券を販売



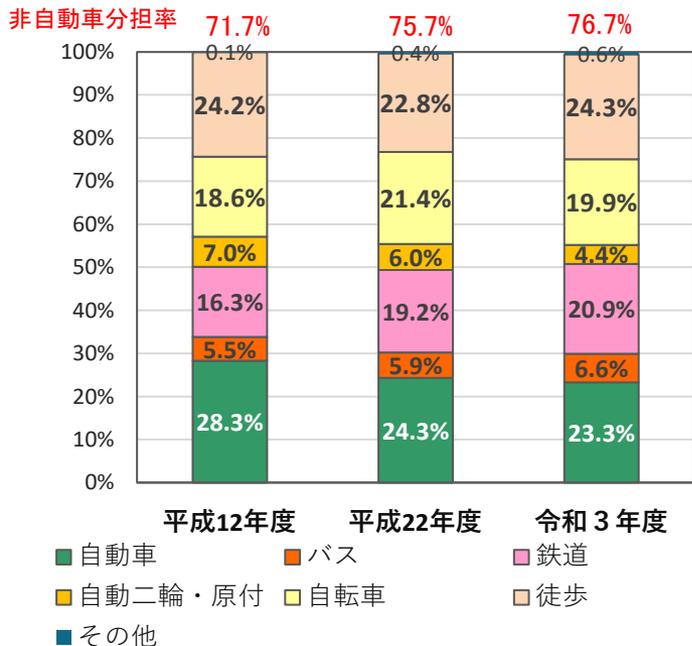
(2) 指標・モニタリング指標について

指標・目標数値（非自動車分担率 85%以上）

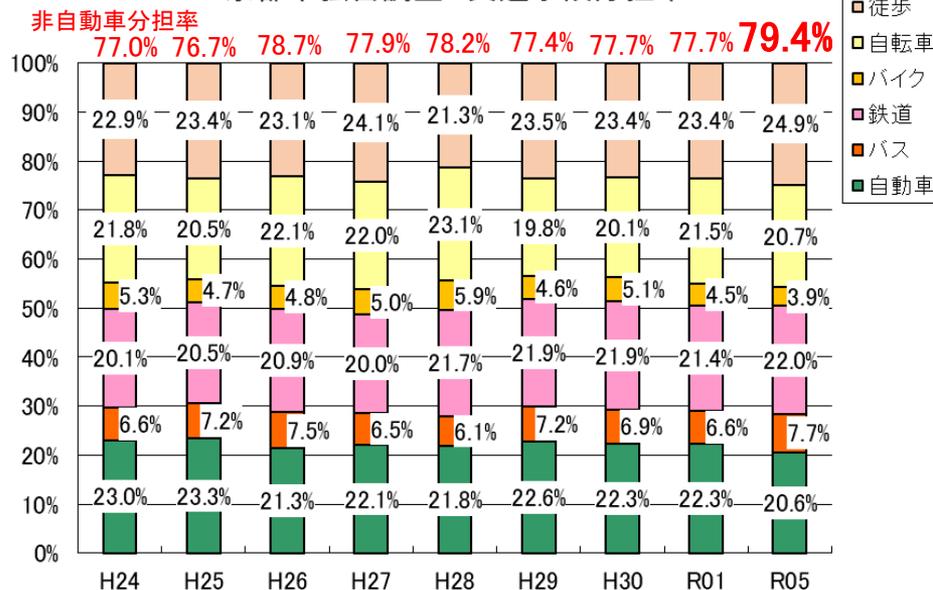
・非自動車分担率は、京都市独自調査の結果、**令和5年度は79.4%**と、過去最高の水準となっている（令和3年度のPT調査では76.7%）。

近畿圏パーソントリップ調査

京都市内における交通手段分担率



京都市独自調査 交通手段分担率



※ 近畿圏パーソントリップ(PT)調査...

国土交通省及び近畿圏の2府4県4政令市などから構成される「京阪神都市圏交通計画協議会」が10年に1度実施する地域別・交通手段別等の交通実態に係る調査。

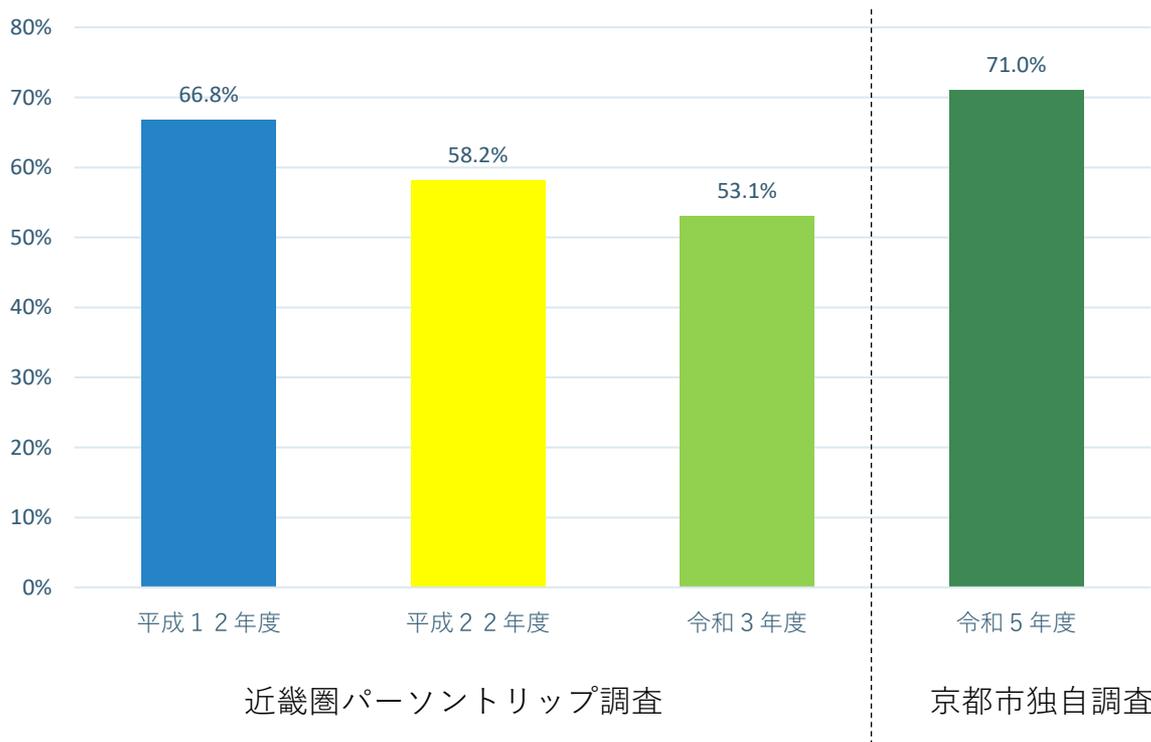
インターネット及び郵送による調査（平成12年度までは訪問調査）で、対象自治体に居住している世帯の中から無作為に抽出した世帯の構成員（5歳以上）の全員を対象としている。

「歩くまち・京都」の実現に向け、市民、事業者、行政が連携し、来訪者とともに、たゆむことなく取組を推進していくことが重要であり、各主体が「歩くまち・京都」の理念や憲章を共有し、一体となって戦略に掲げる取組を進める。

京都市民の休日における外出率

- ・京都市民の休日の外出率は、令和3年度（近畿圏パーソントリップ調査）は53.1%であり、コロナ禍による出控えの影響が大きかったと思われる。
- ・令和5年度（京都市独自調査）の休日の外出率は71.0%であった。

休日の外出率

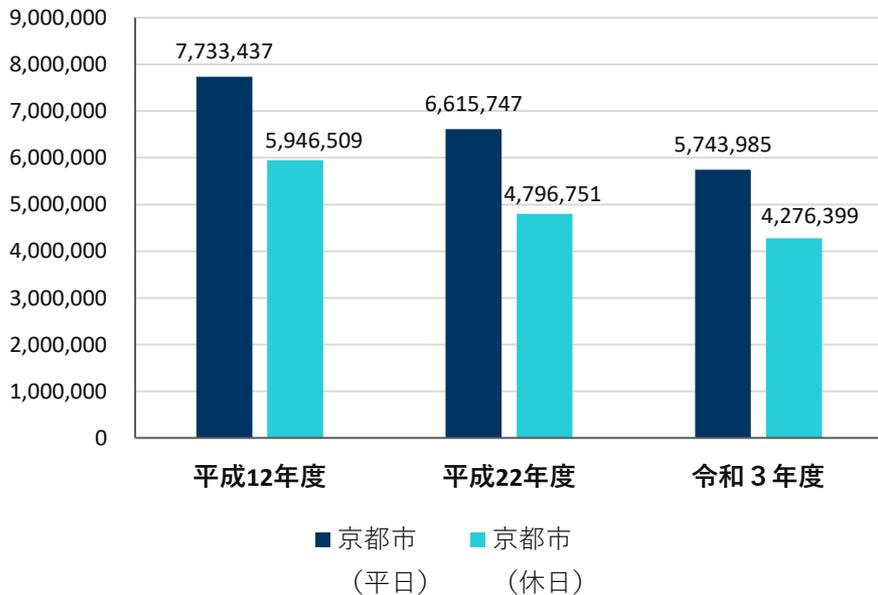


(参考) トリップ数推移

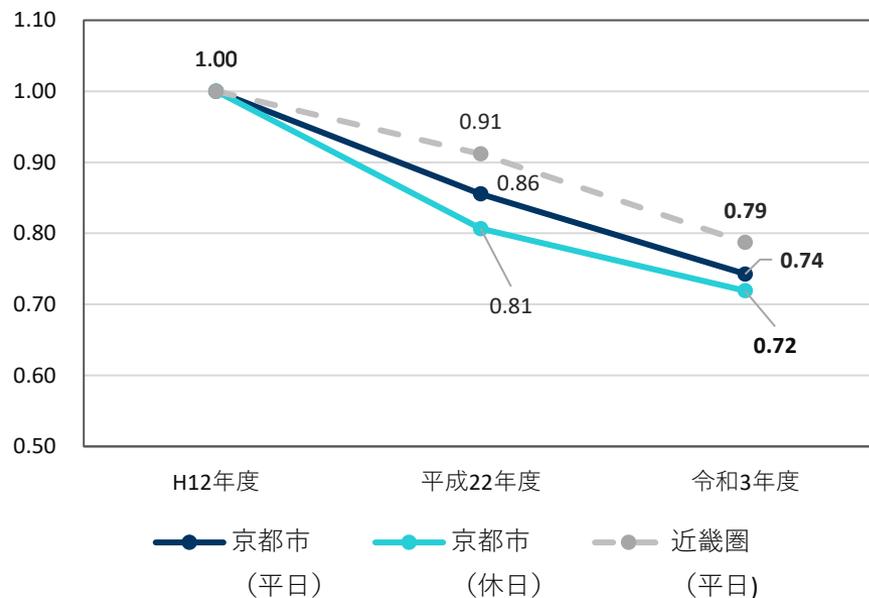
- 京都市内のトリップ数は、平日・休日ともに平成12年度比で約3割減少するなど、年々減少している。京都市（平日）のトリップ数の減少は、近畿圏におけるその減少幅よりも大きい。
- 全国の総トリップ数（平日）の推移は、平成12年をピークに、以降減少傾向にある。平成22年と比べて約14%減少している。

※ トリップ数：人がある目的をもって「ある地点」から「ある地点」へ移動する単位で、移動の目的が変わるごとに1つのトリップと数える。

京都市民のトリップ数の推移



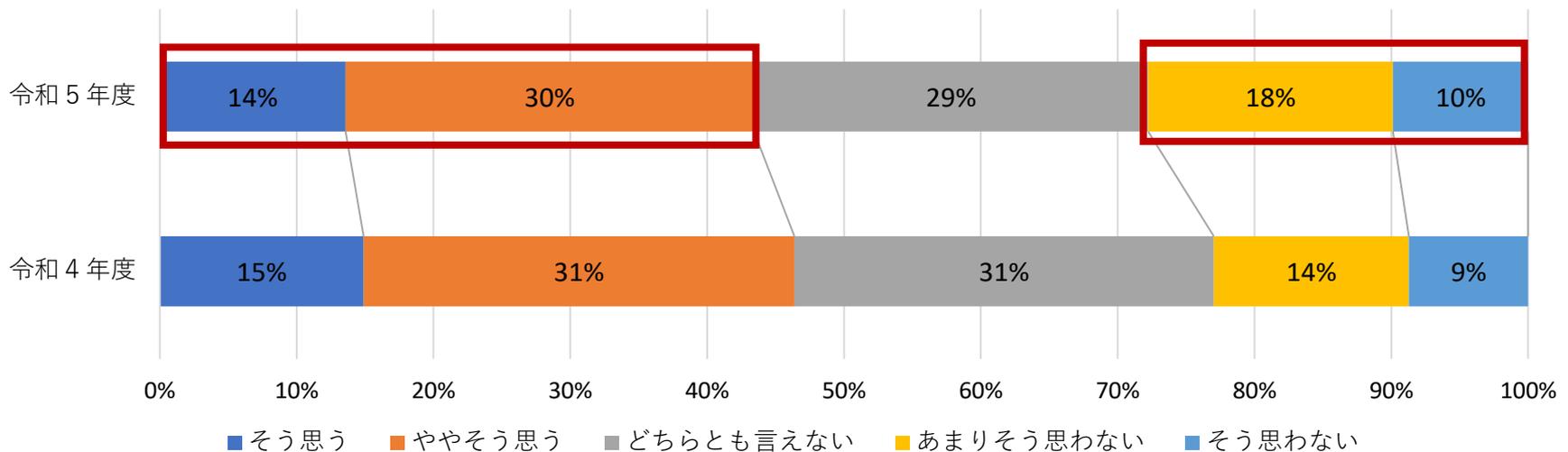
トリップ数の推移



《方針1・2関連》公共交通の利便性

「京都市内の移動は公共交通が便利である」という設問に対し、「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した方が4割超となっている（昨年度からはやや減少）。一方、「そう思わない」又は「あまりそう思わない」と回答した方は3割弱であった。

京都市内の移動は公共交通が便利である



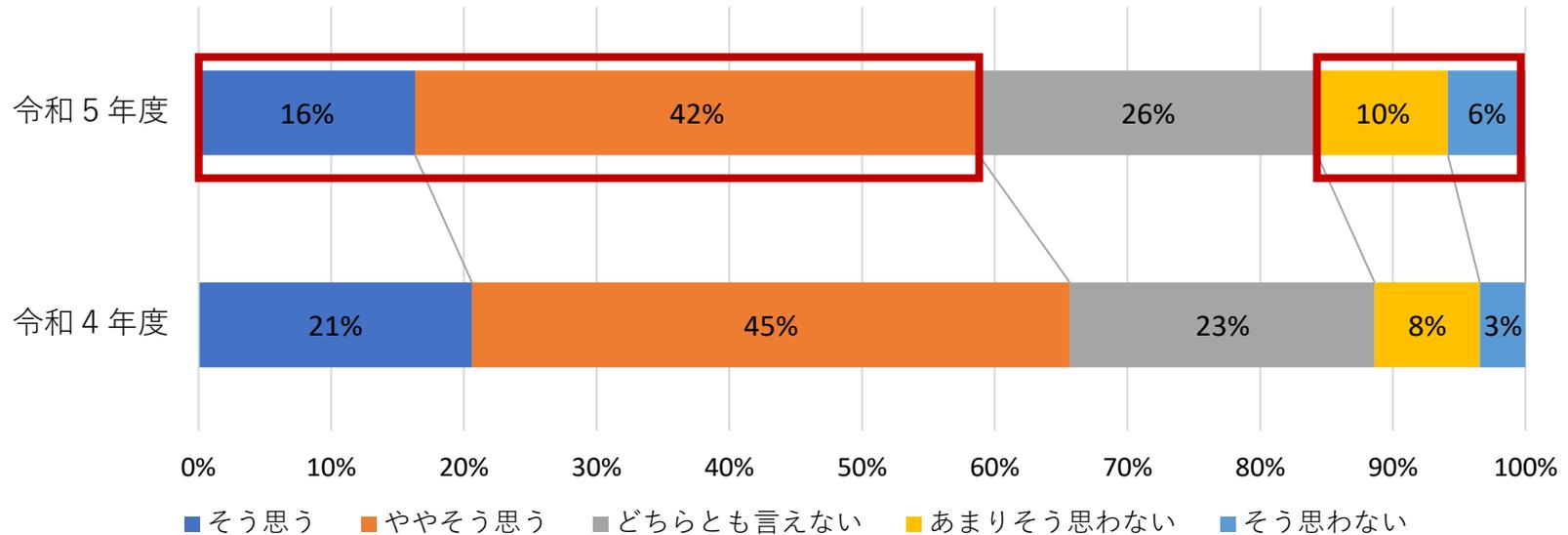
(資料) 京都市市民生活実感調査

※ 京都市市民生活実感調査…市民の皆様が、日々の暮らしの中で、京都のまちづくりについて「どのような実感をお持ちなのか」について聞く調査

《方針 1・2 関連》公共交通の利便性

「市バス・地下鉄は、市民生活に役立っている」という設問に対し、「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した方が過半数を超えている（昨年度からはやや減少）。一方、「そう思わない」又は「あまりそう思わない」と回答した方は2割弱に留まった。

市バス・地下鉄は、市民生活に役立っている

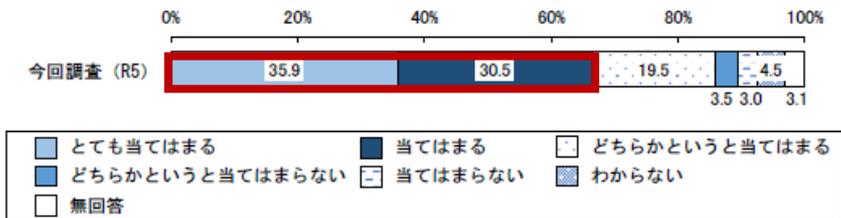


(資料) 京都市市民生活実感調査

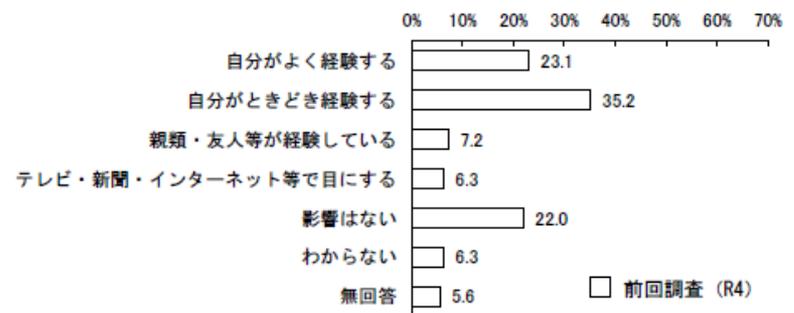
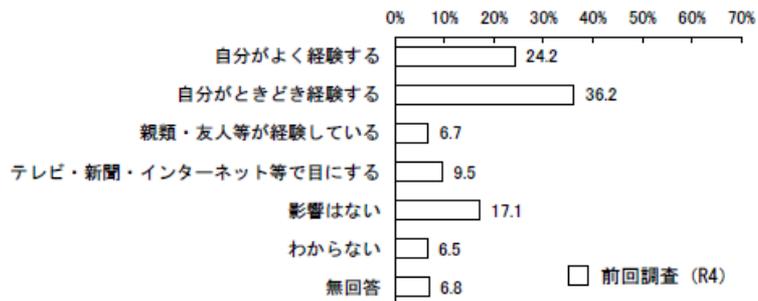
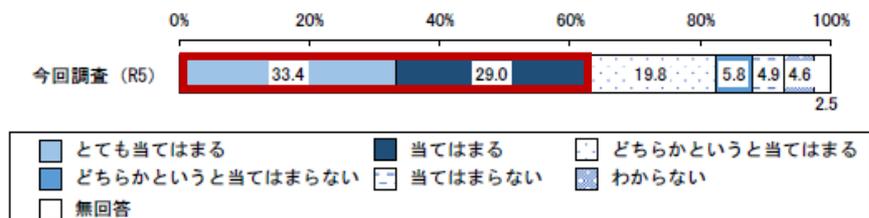
《方針2 関連》市民生活への観光の影響

「一部の観光地・文化観光施設及びその周辺地域等が混雑して迷惑した」という設問に対し、「とても当てはまる」「当てはまる」と答えた市民は合わせて6割5分を超えている。
 また、「路線バスや地下鉄などの公共交通機関が混雑して迷惑した」という設問に対し、「とても当てはまる」「当てはまる」と答えた市民も合わせて6割を超えている。

一部の観光地・文化観光施設及びその周辺地域等が混雑して迷惑した



路線バスや地下鉄などの公共交通機関が混雑して迷惑した

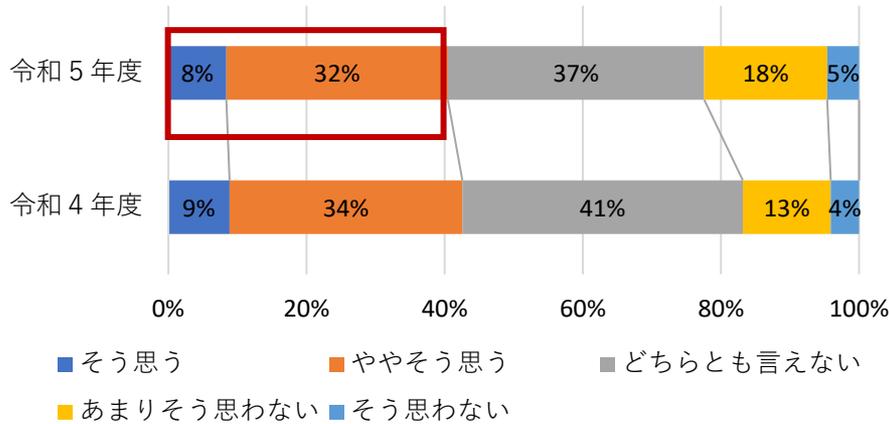


(資料) 令和5年京都観光に関する市民意識調査

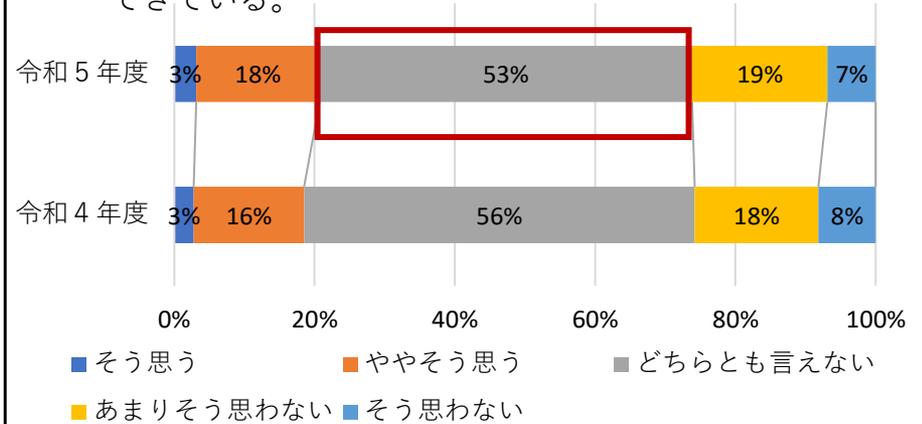
※ 京都観光に関する市民意識調査…京都市民の皆様の京都観光に関する意識や京都市の観光政策・施策の認知度等を把握ことを目的に実施した調査（調査対象：京都市内在住の満18歳以上の市民、5,500人（無作為抽出）、調査期間：令和5年10月31日～令和5年11月27日）

《方針3関連》公共交通ネットワークの充実

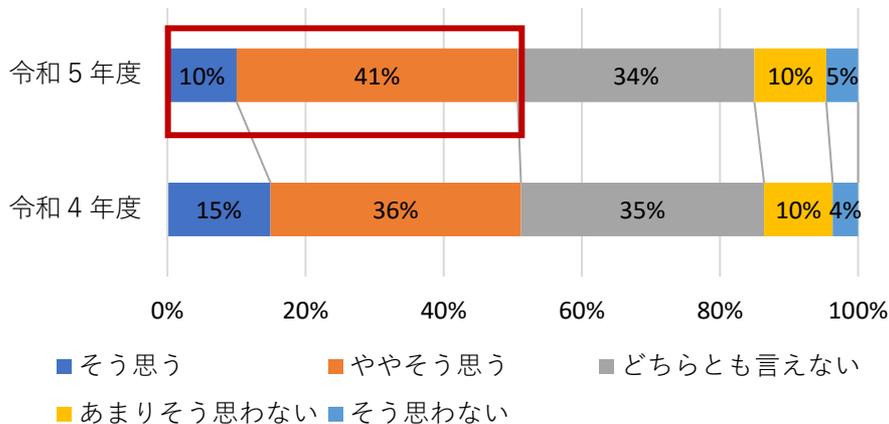
徒歩や公共交通で移動できる範囲に生活に必要な施設や働く場があり、様々な世代が暮らしやすい



「らくなん進都」をはじめとする、京都の新たな活力を担う地域に産業の集積が進むなど、発展してきている。



京都市中心部や京都駅周辺、二条・丹波口・梅小路周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である。



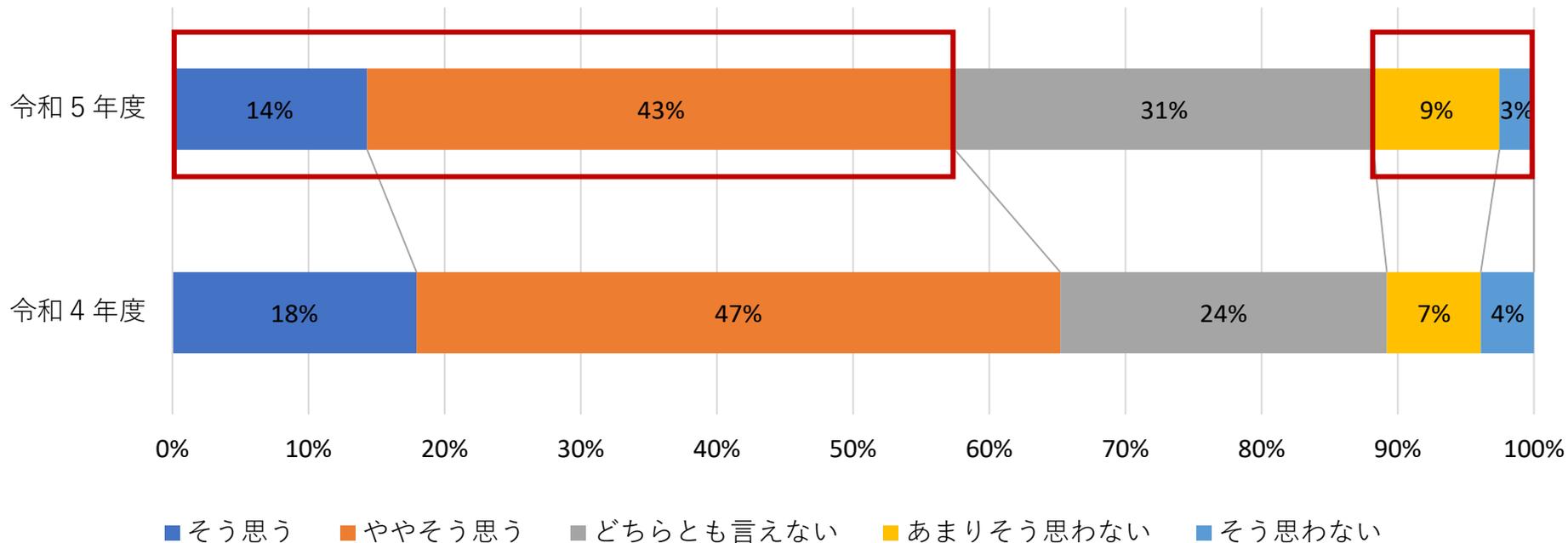
- ・「徒歩や公共交通で移動できる範囲に生活に必要な施設や働く場があり、様々な世代が暮らしやすい」「京都市中心部や京都駅周辺、二条・丹波口・梅小路周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である。」については、肯定的な回答を示した方が、多くを占めている。
- ・「らくなん進都」に関する設問に対しては、回答者の半数以上が「どちらともいえない」と回答している。

《方針4・8関連》歩いて楽しい暮らし

「京都のまちを出歩くことは楽しく、健康にもよい。」という設問に対し、約6割の方々が「そう思う」「ややそう思う」と回答しており、京都のまちを出歩くことについて肯定的な印象を持っている方が多い（昨年度からはやや減少）。

一方、「そう思わない」又は「あまりそう思わない」と回答した方は約1割に留まった。

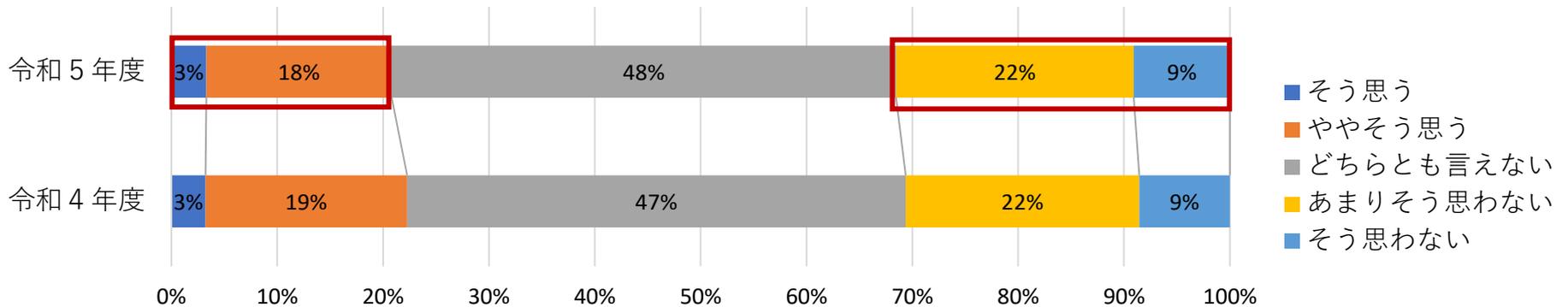
京都のまちを出歩くことは楽しく、健康にもよい。



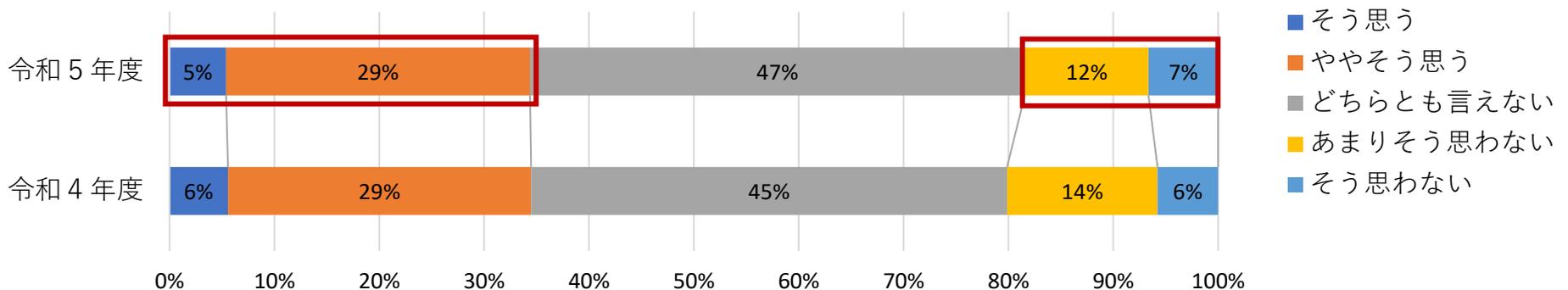
《方針5 関連》都市のレジリエンス向上に資する道路整備

「災害時も安心・安全に通行できる道路網が整備されている。」「市内の道路や橋が安心安全な状態で管理されている。」という設問に対し、「そう思う」「ややそう思う」のグループと「あまりそう思わない」「そう思わない」のグループがそれぞれ約2～3割となっている。

災害時も安心・安全に通行できる道路網が整備されている。



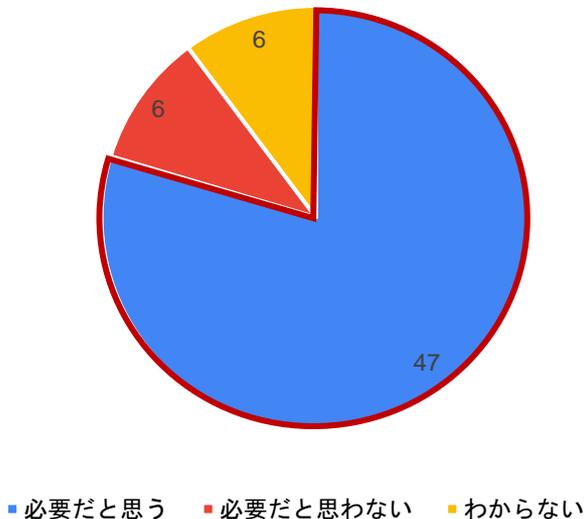
市内の道路や橋が安心安全な状態で管理されている。



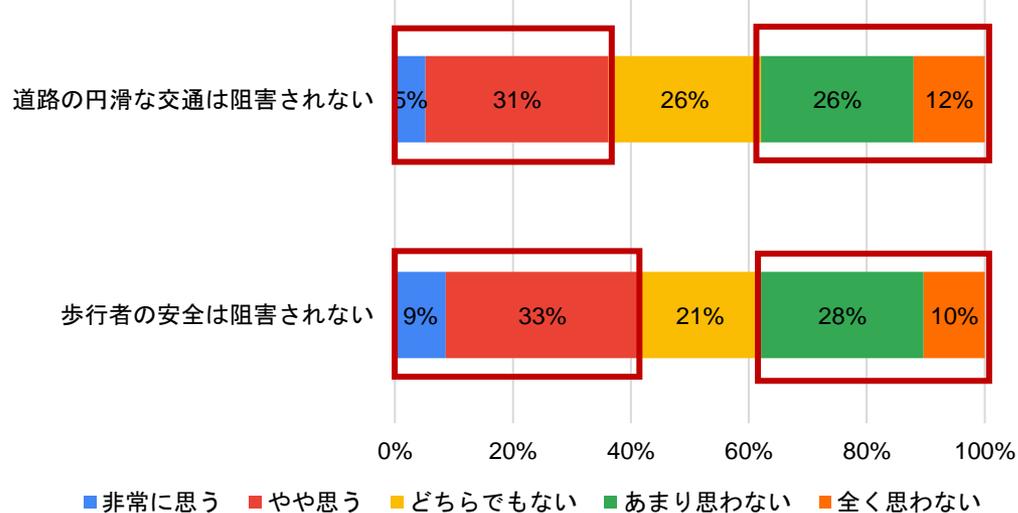
《方針5 関連》円滑な物流

- 「まちなか」（概ね、四条通、河原町通、御池通及び烏丸通に囲まれた地区）の商店街組合の会員を対象に、「まちなか」での地域活動や普段の生活、商業に必要な「物流」を機能させるための取組として、物流についてのアンケートを実施。
- 「あなたは路上駐停車や路上荷さばき等の「物流問題の解決」が必要だと思いますか」という設問に対し、「必要だと思う」と回答した方が7割を超えている。
- 物流車両が路上で駐停車や荷捌きをした場合の影響については、道路の円滑な交通や歩行者の安全が阻害されると回答した数と阻害されないと回答した方の数は同程度であった。

あなたは路上駐停車や路上荷さばき等の「物流問題の解決」が必要だと思いますか？



自分の店舗のために物流車両が路上で駐停車や荷捌きをした場合の影響

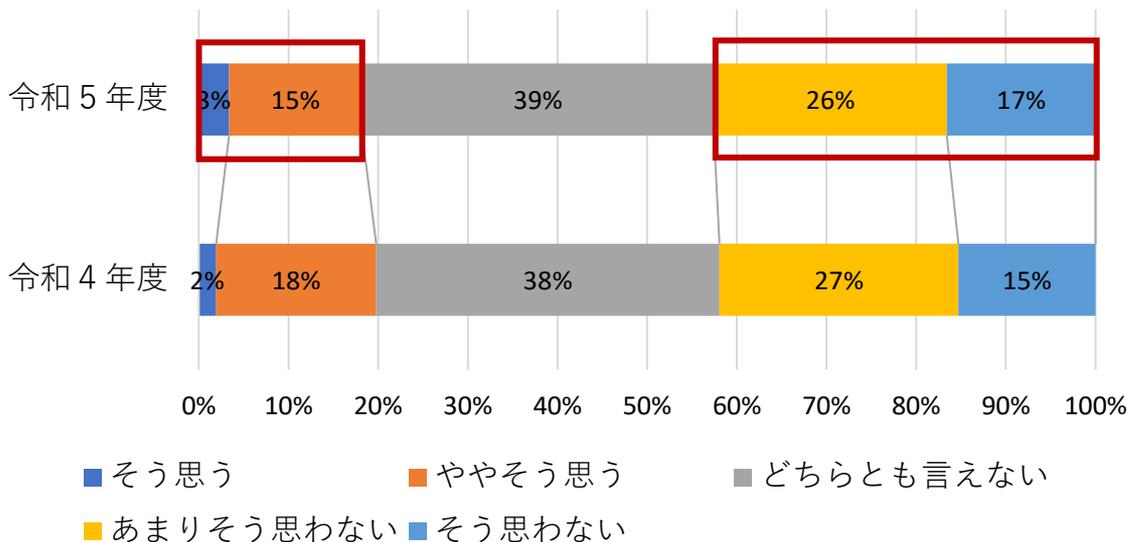


(資料) 京都市
(令和5年度物流に関するアンケート結果)

《方針6関連》自転車政策に関する実感調査

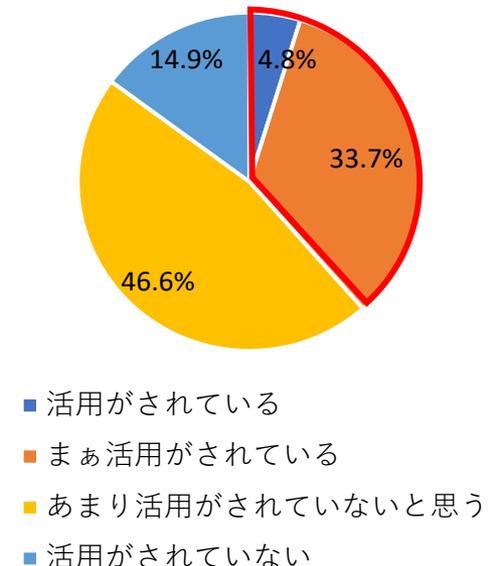
- 「自転車がルールやマナーを守って安心・安全で快適に利用されている」という設問に対し、「そう思う」、「ややそう思う」と回答したのは約2割に留まったのに対し、「あまりそう思わない」、「そう思わない」と回答したのは約4割にのぼった。
- また、自転車政策推進室が実施したアンケート調査によると「健康増進や観光振興等、多様な場面で自転車が活用されていると感じる市民の割合」においても、「活用されている」と回答した割合は「活用されていない」と回答した割合を下回った。

自転車がルールやマナーを守って安心・安全で快適に利用されている



(資料) 京都市市民生活実感調査

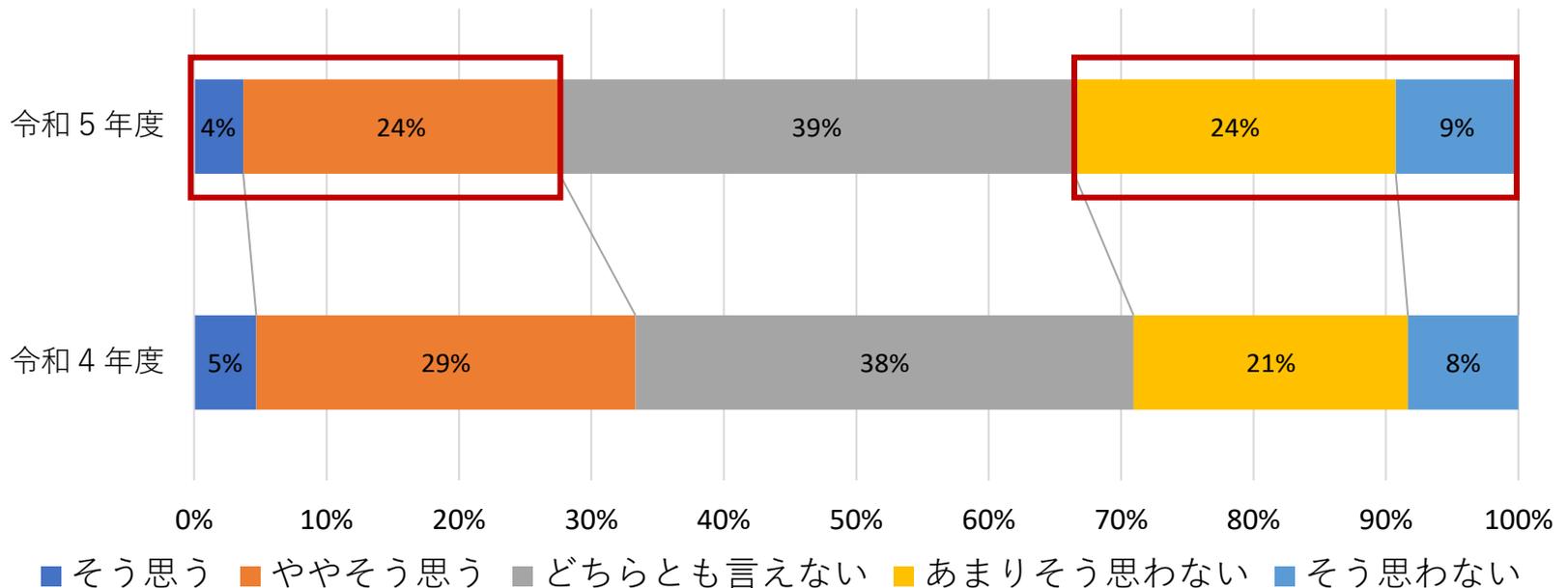
健康増進や観光振興等、多様な場面で自転車が活用されている



(資料) 自転車政策推進室実施アンケート結果

「自動車の利用を控え、公共交通、徒歩、自転車を組み合わせて出かけるライフスタイルが定着している。」という設問に対し、「そう思う」「ややそう思う」と回答した方の割合は、「そう思わない」又は「あまりそう思わない」と回答した方の割合と共に約3割となった。

自動車の利用を控え、公共交通、徒歩、自転車を組み合わせて出かける
ライフスタイルが定着している。



(資料) 京都市市民生活実感調査